

## 2024 年度 事業報告

1. 2024 年度は、法人として下記 4 点の重点項目に取り組むこととした。
  - ① 組織基盤強化のため、法人設立から 10 年後の 2030 年を見据えた「法人のロードマップ」を作成し、それを基として組織全体の枠組を整える。  
⇒2030 年を見据えた法人の活動方針として「アウトリーチネット VISION 2025」(巻末参照) を作成した。
  - ② ネットワーク拡大のため、積極的な普及啓発活動により、ACT 以外のアウトリーチチームの入会促進を行い、新規会員の獲得を目指す。  
⇒年度末時点の会員数は、個人正会員 187 名【前年度比 11 名減】、チーム正会員 45 チーム【前年度比 3 チーム増】、法人正会員 6 法人【前年度比 1 法人増】、個人会員（賛助会員）101 名【前年度比 8 名増】、団体会員（団体賛助会員）5 団体【前年度比 ±0】であり、会員数の推移は横這いだった。
  - ③ 新規会員の獲得に努め、会費収入による増収を目指し、財政面における組織の基盤強化にも努める。  
⇒2024 年度の会員数の推移は上記の通り横這いであったが、未収金の回収に取りくみ、会費収入については微増した。
  - ④ 不条理な差別や排除が制御された地域づくりを目指し、人権・権利擁護ワーキンググループを中心に学会発表などを行う。  
⇒第 31 回日本精神障害者リハビリテーション学会 東京お台場大会（会期：2024 年 12 月 14 日～15 日、会場：東京有明医療大学）において、自主プログラム「『人権』は爆発だ！～治療や支援に潜む加害性について一緒に考えませんか？～」を企画・開催した。
2. 委員会活動
  - ① 政策・研究委員会
    - (ア) 日本におけるアウトリーチ・訪問支援の歴史を整理するスコーピングレビュー  
ーあるいはマッピングレビューに取りくんだ。具体的な作業は、下記の通り。
      1. レビューの計画策定
      2. 検索作業の実施
      3. 一次スクリーニングの実施
    - (イ) 委員内で、今後のアウトリーチの制度や関連報酬体系について議論した。
  - ② 広報委員会
    - (ア) 委員会の開催(1～2 回/月)
    - (イ) 情報を公開することに関するルール作り
      1. 研修開催時のフローチャート作成・運用
      2. 広報に関わる各種サービスのアカウント管理

3. ホームページを含む SNS にのせる内容の検討
  4. 研修の際の登壇者への確認(同意)書の作成・運用(メール添付の Word 様式と Google Form の作成)
  5. 個人情報保護方針・規定の検討
- (ウ) SNS の更新
- (エ) 会員増加に向けての広報先・広報内容の検討
1. Newsletter の発行
  2. 寄付ページの検討
- (オ) 全国大会の実行委員会への参加
- (カ) 委員会メンバーの増員
- ③ 研修委員会
- (ア) ACT 部会、訪問支援・訪問看護部会、地域づくり部会と協働し、共同企画研修を運営した。

### 3. 部会活動

- ① 訪問支援・訪問看護部会
- (ア) コアメンバー
1. 山田悠平(一般社団法人精神障害者当事者会ポルケ 代表理事)、米良重人(横浜市鴨井地域ケアプラザ 社会福祉士)、村尾真治(株式会社ラポート 代表取締役)、大迫晋(ネクステップ訪問看護ステーション 管理者)、野々上武司(こころの訪問看護ステーション 副所長)、増子徳幸(訪問看護ステーション Wing 副管理者・部会長)
- (イ) 「対話する読書会」の実施
1. 精神科の対人支援において重要な「世界観」や「価値観」、物事に対する様々な視点等を学ぶことができる「読書会」を、米良氏の企画によっておこなった。読書会のメンバーは、現在は部会コアメンバーによって構成しているが、今後は一般部会員も合流いただく予定。各回構成員の一人が勧める本を読んで感想を話し合い、それを米良氏が「note」にまとめて発信するという方法をとっている。各回の内容は以下の通り。
    - i. 試行回(2024/10/22): 「『対話する読書会』はじめます」「無知の自覚・無知の専門性?」
    - ii. 1回目(2024/10/24): 「『ビレッジから学ぶリカバリーへの道-精神の病から立ち直ることを支援する』を読んで」(増子推薦)
    - iii. 2回目(2024/12/4): 「『狼たちへの伝言』を読んで」(村尾推薦)
    - iv. 3回目(2025/1/20): 「『統合失調症からの回復とはどういうことか』を読んで」(大迫推薦)
- (ウ) 精神科アウトリーチ実践者向け「訪問看護・訪問支援における虐待防止研修」の実施
1. 制度改定による「虐待防止研修」の義務化にあわせて、掲題の研修を当部

会主催で行った。

2. 日程：2025年1月13日（月・祝）14:30～17:00、Zoom配信+後日オンデマンド配信
3. 申込み：53名（コア8名含む）→当日参加：40名 不参加：13名（不参加の方は後日オンデマンド配信視聴希望の方と思われる）
4. ①オープニング挨拶：大迫、②問題提起：山田、③虐待のセルフチェック（日精看のチェックを参考にしたオリジナル）、④グループワーク：司会須田 ⑤グループワークを受けて鼎談：山田・野々上・増子の鼎談、⑥クロージング挨拶：村尾

① 訪問医療部会（病院型・診療所型）

- (ア)部会の組織化担当理事の交代（西尾雅明から植田俊幸へ）
- (イ)日本財団助成を得て2024年9月14日～15日に医学生、若手精神科医を対象にアウトリーチ合宿を行った。
- (ウ)2025年2月24日にお顔合わせミーティングを行った。
- (エ)訪問医療部会コアメンバーミーティングの開催。
- (オ)訪問医療部会の立ち上げ相談（新規で始めようとされる診療所、病院に対してコアメンバーを中心に会員をサポート）
- (カ)2025年度精神神経学会の訪問診療のシンポジウム採択（渡邊真里子、上島雅彦コーディネート）
- (キ)2025年1月、政策研究委員会との協働でのミーティングを開催（コアメンバーから野口正行、三家英明、渡邊真里子参加）
- (ク)第3回世田谷大会に分科会「医療での多職種アウトリーチを当たり前に実現させたい」開催企画
- (ケ)2025年8月にアウトリーチ開設・転職セミナーの企画

③ 子ども・若者支援部会

- (ア)部会規定の作成
- (イ)部会の組織化

④ 地域づくり部会

- (ア)コアメンバー

1. 本間貴宣（一般社団法人しん 代表理事）、田渕誠（Isuka株式会社 代表取締役）、高山京子（特定非営利活動法人びすた～り 事務局長）、中野千世（地域活動支援センター櫻）、浦林翼（おでかけクリニック 事務長／合同会社ももこら 代表）、金井浩一（一般社団法人ライフラボ 相談支援事業所しほふあーれ 代表／地域づくり部会 部会長）

(イ)実施ミーティング／会議

1. 2024年7月20日（オンライン）
2. 2024年9月25日（オンライン）
3. 2024年10月7日（オンライン）
4. 2024年11月19日（オンライン）

5. 2024 年 12 月 5 日（オンライン）
6. 2025 年 1 月 24 日（オンライン）
7. 2025 年 2 月 1 日（研修、オンライン）
8. 2025 年 3 月 17 日（オンライン）

(ウ) コミュニティへのアウトリーチ、リカバリー支援における横断的モデル作りに向けての検証

(エ) 研修会開催

1. 研修名：「旅する思考 vol.1」
2. 日時：2025 年 2 月 1 日 13:00～16:00
3. 会場：オンラインライブ配信
4. 研修会開催への検討、ならびに研修会にて、「地域とは何か」「ケアとは」等の考察を深めた。

(オ) 他の部会、委員会との連携事業

1. 部会企画の研修、分科会ならびに全 8 回の部会コアメンバーミーティングにおいて、部会として取り組むべき課題についての検討を重ねた。
2. 他部会、委員会とは 2025 年 2 月 1 日の部会企画研修会にて ACT 部会部会員を招き、対話の時間を設けた。

## ⑤ ACT 部会

(ア) コアメンバー

1. 鷹子剛 (Q-ACT 福岡)、浦林翼 (おでかけクリニック)、香取牧子 (ACT-Aile)、五ノ坪洋孝 (ACT-K)、横田季子 (ACT-K)、富沢明美 (ACT ちやいむ)、白石泰三 (Q-ACT やはた)、片岡大貴 (Q-ACT 北九州)

(イ) フィデリティ (ACT チーム対象) レビュアー研修

1. 日程：2024 年 9 月 7 日(土)10:30～16:30、オンライン開催
2. 内容：フィデリティの概要、レビュアーの配置決め・連絡先交換、グループワーク (MR・人的資源・組織・サービス)、調査方法の説明
3. 講師：吉田光爾 (東洋大学)
4. 参加者：29 名

(ウ) フィデリティ・レビュー実施

1. 参加チーム：12 チーム (10 月～3 月に各チームのレビュー実施)

(エ) リーダー研修 (アウトリーチ支援実践者対象)

1. 日程：2024 年 8 月 24(土)～25 日(日)対面開催
2. 内容：チームビルディング、スーパービジョン、ロールプレイ、各チームの取り組み紹介 (ACT-K, SAGA-ACT)、フィッシュボウル
3. 講師：浦林翼 (おでかけクリニック)、須田竜太 (Q-ACT くるめ)、鷹子剛 (Q-ACT 福岡)
4. 参加者：31 名

(オ) 新人研修 (研修委員と協力、アウトリーチ支援実践者対象)

1. 日程：2024 年 11 月 23 日(土)13:00～15:00、オンライン開催

2. 内容：シンポジウム「地域で支えるために大切にしてほしいこと」
3. 総合司会：吉田光爾（東洋大学）
4. シンポジスト：佐藤朋美（精神障害当事者会ポルケ）、赤池千明（みんなねっと）、瀧ノ上恵（訪問看護ステーションりすたーと）、高山京子（特定非営利活動法人びすたへり）
5. 参加者：58名

(カ) グループスーパービジョン

1. 第1回：2024年7月24日(水)18:30～20:00、オンライン開催
  - i. 事例提供者：佐藤朋恵（PORT）
  - ii. ファシリテーター：鷹子剛（Q-ACT福岡）
  - iii. 参加者：30名
2. 第2回：2024年10月16日(水)18:30～20:00、オンライン開催
  - i. 事例提供者：山尾鈴（Q-ACT北九州）
  - ii. ファシリテーター：浦林翼（おでかけクリニック）
  - iii. 参加者：25名

(キ) ACT部会忘年会

1. 2024年12月11日(水)19:00～21:00、オンライン開催
2. 参加者：20名

#### 4. 法人運営

- ① 第3回全国大会（世田谷大会）の企画・準備
  - (ア) 会期：2025年5月17日～88日
  - (イ) 会場：成城ホール（東京都世田谷区）
  - (ウ) 大会テーマ：「未来を紡ぐアウトリーチ～出会いの連続性～」
  - (エ) 大会長：吉田光爾（東洋大学）、副大会長：岡崎公彦（岡崎クリニック）

1. リレーシンポジウム

【総論】支援を要する人々に届くアウトリーチ支援を行うために～我が国の包括的な支援に関する状況～

- i. シンポジスト：藤井千代（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部）、岡本秀行（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課）、鎌木奈津子（上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科）

【第1部】アウトリーチ支援孤立をめぐる地域課題を考える～借りられない住まい、セルフネグレクト、ゴミ屋敷など～

- i. シンポジスト：朝比奈ミカ（市川市よりそい支援事業「がじゅまる+」／市川市生活サポートセンターそら）、藤井和世（おでかけクリニック）

【第2部】アウトリーチ支援 制度の切れ目や世帯全体の複合的な課題を考える～若者支援、世代をまたぐ支援など～

- i. シンポジスト：沢村香苗（日本総研創発戦略センター）、根本真紀（フリーソーシャルワーカー）

【総括】未来を紡ぐアウトリーチ、出会いの連続性～領域を超えてアウトリーチ支援をつないでいくために～

- i. 総論：第1部、第2部の登壇者、藤井千代、岡本秀行、朝比奈ミカ、藤井和世、沢村香苗、根本真紀らとともにリレーシンポジウムの振り返り

## 2. コラボ企画「再発見される言葉たち」

- i. ラグーナ出版内再発見される言葉たち日本ネットワーク事務局＆アウトリーチネット研修委員会企画

## 3. 教育講演「『ひきこもり』の30年を振り返る：当事者との関わりを中心に」

- i. 演者：石川良子（立教大学 社会学部 社会学科）

## 4. 区民講座「アウトリーチでの出会いと対話」

- i. 登壇者：荒井和樹（全国こども福祉センター／愛知文京女子短期大学）、向谷地生良（べてるの家／北海道医療大学）

## 5. 当事者に聴く「被災体験とこれからの防災」

- i. 登壇者：山田悠平（精神障害当事者会ポルケ）、相良真央（精神障害当事者会ポルケ）

## 6. その他の分科会

### ② 定時社員総会の開催

(ア)日時：2024年6月10日 10:00～11:00

(イ)会場：東北福祉大学せんだんホスピタル

(ウ)内容：2023年度事業報告

2024年度計算書類の承認

2024年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）の承認

定款一部変更の承認

役員選任の承認

### ③ 理事会の開催

(ア)2024年4月15日 オンライン(ZOOM)

(イ)2024年5月20日 オンライン(ZOOM)

(ウ)2024年6月28日 オンライン(ZOOM)

(エ)2024年7月19日 オンライン(ZOOM)

(オ)2024年8月17日 対面（東洋大学赤羽台キャンパス）

(カ)2024年9月20日 オンライン(ZOOM)

(キ)2024年10月18日 オンライン(ZOOM)

(ク)2024年11月15日 オンライン(ZOOM)

(ヶ)2024年12月20日 オンライン(ZOOM)

(コ)2025年1月17日 オンライン(ZOOM)

- (サ)2025年2月21日 オンライン(ZOOM)
- (シ)2025年3月21日 オンライン(ZOOM)
- ④ 人権・権利擁護ワーキンググループ：日弁連「大連帯会議」への参加
  - (ア)2024年4月7日 対面(北とぴあ)
  - (イ)2024年9月29日 対面(文京区民センター)
  - (ウ)2025年3月23日 対面(北とぴあ)
- ⑤ こども・若者支援全国ネットワークへの参加
  - (ア)2024年8月14日 対面(日本橋ライフサイエンスビルディング)
  - (イ)2025年3月26日 オンライン(ZOOM)
- ⑥ 各部会や各委員会の意見の取りまとめや調整
- ⑦ 委員会および部会の開催
- ⑧ 事務局業務（委託含む）
  - (ア)会員の入退会に伴う業務
  - (イ)会費の請求業務
  - (ウ)設立総会の開催に伴う業務
  - (エ)経理業務
  - (オ)法人税等の税務関連業務
  - (カ)現預金等の日常の管理業務
  - (キ)会員や外部関係機関などからの相談対応業務

## 2024 年度 計算書類

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	4,774,983
未収会費	766,000
前払金	419,100
仮払金	26,000
流動資産合計	5,986,083
2. 固定資産	
ソフトウエア	269,011
固定資産合計	269,011
資産合計	6,255,094
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	227,000
前受金	364,000
仮受金	
預り金	
流動負債合計	591,000
2. 固定負債	
長期未払金	657,900
固定負債合計	657,900
負債合計	1,248,900
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,006,194
正味財産合計	5,006,194
負債及び正味財産合計	6,255,094

2025 年度正味財産増減計算書  
2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日 まで

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
経常収益	
1. 受取会費	
個人正会員	772,000
チーム正会員受取会費	1,290,000
法人正会員受取会費	120,000
個人賛助会員受取会費	228,000
団体賛助会員受取会費	50,000
受取会費計	2,460,000
2. 事業収益	
部会活動収益	1,103,000
セレモニー参加費等収益	28,000
事業収益計	1,131,000
3. 受取寄付金	
受取寄付金	2,144,000
4. 雑収益	
受取利息	1,301
雑収益	249
経常収益計	5,736,550
経常費用	
1. 事業費	
旅費交通費	195,291
通信運搬費	38,400
消耗品費	2,648
印刷製本費	
賃借料	
諸謝金	190,881
支払寄付金	
委託費	290,706
会議費	0
郵送費	4,273
研修費	1,548,899
雑費	40,764
事業費計	2,311,862
2. 管理費	
会議費	0
交際費	8,068
旅費交通費	694,548
通信運搬費	23,375
減価償却費	248,316
消耗品費	6,590
印刷製本費	236,054
諸謝金	0
租税公課	199
郵送費	60,526
委託費	457,260
HP維持費	105,600
雑損	68,000
雑費	17,559
管理費計	1,926,095
経常費用計	4,237,957
評価損益等調整前当期経常増減額	1,498,593
当期経常増減額	1,498,593
経常外収益	0
経常外費用	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,498,593
当期一般正味財産増減額	1,498,593
一般正味財産期首残高	3,507,601
一般正味財産期末残高	5,006,194
II 指定正味財産増減の部	0
III 基金増減の部	0
IV 正味財産期末残高	5,006,194

## 監査報告書

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会の2024年度における事業及び会計の監査について以下の通り報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会及びその他の重要な会議に出席し、必要に応じて理事からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。それらを踏まえ、当該事業年度に係る事業及び会計について検討しました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査の結果

事業報告は法令、定款に従い正しく示しているものと認めます。

各理事の職務執行に関する不正行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類の監査の結果

計算書類は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

2025年4月16日

監事

山 口 亮

